

リーディングDXスクール事業【実践事例】

垂水市立垂水小学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 遠隔合同授業



小学生の時から、大人数の学習に慣れることや交流を深めることでお互いに顔を覚えることなどを目的として行っている。また、小規模校にとっては多様な意見に触れる貴重な機会となる。

子供たちの感想は、交流することができて楽しかった、お互いの意見を交換することができてよかったなどの好意見が多かった。

本市は、8小学校（ただし1校は休校中）・1中学校であるため、全ての小学生が、中学校で合流することになる。つまり、いずれは、1つの学校でいっしょに学習することになる。

本校は、1学年が2クラスの中規模校であるが、残りの6小学校は、複式の学級である。中学校では、クラスの大半が、本校の生徒ということになる。そのため、

